

化学物質等安全データシート

会社名：株式会社 高純度化学研究所

住所：〒350-0284 埼玉県坂戸市千代田 5-1-28

電話：049(284)1511 FAX：049(284)1351

作成部門：本社 品質保証部

整理番号：AGH03XAG

作成：1995年 8月 1日

R2 2010年 9月 22日

1 化学物質等及び会社情報

1.1 製品情報

製品名：AgCl 塩化銀 Silver(I) chloride, anhydrous

カタログ#	AGH03XB
濃度, サイズ	3N, 固体, -

1.2 会社情報 上部に記載

2 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性	環境に対する有害性	物理化学的危険性
データなし	データなし	可燃性固体；区分外 自然発火性固体；区分外 自己発熱性化学品；区分外 水反応可燃性化学品；区分外

GHSラベル

絵表示 該当なし

注意喚起語 該当なし

危険有害性情報	注意書き
該当なし	取り扱いの際には保護眼鏡、手袋、保護マスク、保護衣他必要な保護具を着用すること。 粉塵、ミストの吸入を避ける。取扱い中の飲食喫煙を避け取扱い後は手洗いを励行。 暴露した時、または気分が悪い時は医師に連絡すること。 内容物/容器を法規に従って廃棄すること。

国・地域情報：・ 対応規制なし。

その他の危険有害性：

- ・ 加熱により刺激性又は有毒なガスやヒュームを生じる。
その他、該当項目に参考情報を記載した。

3 組成, 成分情報

単一製品, 混合物の区分：単一製品

化学名：塩化銀

Silver(I) chloride

化学式：AgCl

組成：100 %

P R T R法 非該当

官報公示整理番号：・ 化審法 既存化学物質 1-4

C A S # : 7783-90-6

RTECS# : VW3563000

T S C A : 登録

EINECS : 2320333

4 応急措置

- 目に入った場合：・ 流水で眼を最低 15 分間洗浄し、直ちに眼科医の手当を受ける。
- ・ 洗眼の際、瞼を指でよく開いて、眼球・瞼の隅々まで水が行き渡るようにする。
- 皮膚に着いた場合：・ 物質に触れた部分を多量の水を流しながら、石鹼を使ってよく落とす。
- ・ 外観に変化が見られたり、痛みが続く場合は、医療処置を受ける手配をする。
- 吸入した場合：・ 被災者を空気の新鮮な所に移し、直ちに医療処置を受けさせる。
- ・ 鼻をかませ、うがいをさせる。
- 飲み込んだ場合：・ 直ちに医療処置を受ける手配をする。水でよく口の中をうがいさせる。
-

5 火災時の措置

- 一般的注意：・ 消火の際には必ず保護具を着用する。
- ・ 火災時に、刺激性あるいは有毒なガス(塩素, 塩化水素 等)やヒューム(銀酸化物 等)を生じる。
 - ・ 表題製品は不燃物であり、消防法の非危険物である。
- 消火方法：・ 製品が火災に巻き込まれた場合、消防活動について特に考慮すべきことはない。
-

6 漏出時の措置

- 一般的注意：・ 可能であれば漏れを止める。
- 処理作業者に対する注意：
- ・ 作業の際には必ず保護具を着用し、物質の付着，吸入を防ぐ。
 - ・ 屋内の場合処理が終わるまで十分に換気する。屋外では風上から作業する。
- 環境影響に対する注意：
- ・ もれ出た物質や希釈水が河川等に排出されないよう注意する。
- もれ出た物の処理に対する注意：
- ・ できるだけ掃き集めて密閉できる空容器に回収する。
-

7 取り扱い及び保管上の注意

取扱上の注意

- * 作業者の暴露防止：
- ・ 適切な身体保護具を選んで着用し、排気装置を利用して作業者に物質が触れないように、また物質の粉塵等を吸引しないようにする。
 - ・ 取扱いは、換気の良い場所で行う。

保管上の注意

- * 一般的注意：・ 容器を遮光して密閉し、冷暗所に保管する。
-

8 暴露防止及び保護措置

- 管理濃度：・ 作業環境評価基準(2009) 規定なし。
(参考)：作業環境評価基準(2009) 土石, 岩石, 鉱物, 金属又は炭素の粉じん 3.0 mg/m³
(25 °C, 1 atm, 空気中)
- 許容濃度：・ 日本産業衛生学会(2009) 銀及び銀化合物 (as Ag) 0.01 mg/m³
(参考)・ ACGIH(2008) 水溶性銀化合物(as Ag) TLV-TWA = 0.01 mg/m³
- 設備対策：・ 粉塵に暴露される可能性のある場合は発散源密閉装置や局所排気設備等の排気設備を使用すること。
- 保護具：・ 呼吸用保護具＝空気呼吸器, 防塵マスク, 保護眼鏡＝ゴーグル型, 保護面(防災面)
保護手袋, その他＝保護服, 長靴, 前掛け, アームカバー

9 物理的及び化学的性質

注) 指数以外の右肩付数は温度(°C)

外 観 等 : ・ 無色の結晶性固体。

化 学 式 : AgCl 式 量 : 143.3

融 点 : 455 ¹⁾沸 点 : 1550 ¹⁾密 度 : 5.56 g/cm³ ²⁾。

溶 解 性

* 水 : ・ 不溶 (水への溶解度 0.8mg/L (10), 21.7mg/L (100)³⁾)

* 可 溶 : ・ アンモニア水, シアン化カリウム溶液, チオ硫酸ナトリウム溶液。

* 不 溶 : ・ エタノール。

可燃性 : ・ 不燃性である。

酸化性 : ・ なし。

その他の情報 : ・ 光に曝すと黒化する。

10 安定性及び反応性

安定性 : ・ 遮光して室温密封保存で安定である。

反応性 :

* 混触危険 : ・ 強酸及び酸化剤。

・ アルミニウム粉末との混合物は、アルミニウム粉末の量が少ないと爆発的に激しく反応する可能性がある。

* 共存を避けるべきもの : ・ 光, 熱。

* 危険有害な分解生成物 :

・ 塩素, 塩化水素, 銀酸化物

11 有害性情報

急性毒性 : ・ GHS 判定 データなし。

皮膚腐食性/ 刺激性 :

・ GHS 判定 データなし。

・ 銀化合物は皮膚や粘膜の刺激剤になるおそれがある。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : ・ GHS 判定 データなし。

呼吸器感受性 : ・ GHS 判定 データなし。

皮膚感受性 : ・ GHS 判定 データなし。

生殖細胞変異原性 : ・ GHS 判定 データなし。

発がん性 : ・ GHS 判定 データなし。

・ 日本産業衛生学会(2009), IARC(2009), NTP(2005), ACGIH(2008)による発癌物質に記載がない。

生殖毒性 : ・ GHS 判定 データなし。

・ 変異原性が認められた既存化学物質等 (平成 22 年 6 月 28 日現在)に該当しない。

特定標的臓器毒性

単回暴露 : ・ GHS 判定 データなし。

反復暴露 : ・ GHS 判定 データなし。

・ 長期間にわたり銀及びその化合物の暴露を受けていると、皮膚, 粘膜及び結膜に銀が沈着し灰青色になる場合がある。体質上の徴候や肉体的障害は無い。

吸引性呼吸器有害性 : ・ GHS 判定 データなし。

その他の情報 :

・ 粉塵による機械的刺激は眼, 皮膚, 呼吸器に影響を与える。

1 2 環境影響情報

水性環境急性/慢性有害性：・ GHS 判定 データなし。
 魚毒性：・ 現在のところ知見なし。
 分解性：・ 無機物であり、検討の対象外である。
 蓄積性：・ Ag 生物学的半減期 5 day ・ 吸収率 経口 = 0.01, 経気道 = 0.26⁴⁾
 オゾン層：・ フロン, ハロンでない。
 海洋汚染：・ 海洋汚染物質に該当しない。

1 3 廃棄上の注意

廃棄方法：・ 貴金属が含まれているため、回収されると思われる。
 特別管理産業廃棄物：・ 該当しない。

1 4 輸送上の注意

国連分類：非危険物 国連番号：－
 輸出統計：2843.29-000 輸入統計：2843.29-000

注意事項：・ 運搬中の温度, 湿度, 圧力等の変化で破損や漏洩等の恐れがない容器に、輸送中の破損等が起こらないように収納する。

1 5 適用法令

◆規制条項

- ・ 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律： ◇既存化学物質 1-4
- ・ 労働安全衛生法： ◇危険物や名称通知対象物質, 特定化学物質等に該当しない。
- ・ 毒物及び劇物取締法： ◇普通物(毒物や劇物に該当しない)
- ・ 消防法： ◇非危険物 (非届出物質)
- ・ 化学物質管理促進法(P R T R 法)： ◇非該当
- ・ 道路法： ◇非危険物
- ・ 船舶安全法： ◇非危険物
- ・ 港則法： ◇非危険物
- ・ 航空法： ◇非危険物
- ・ 外国為替及び外国貿易管理法
 - * 輸入貿易管理令： ◇自由化品目
 - * 輸出貿易管理令： ◆補完的輸出規制 16 項該当
- ・ 環境基本法：環境基準
 - ◆大気(浮遊粒子状物質) ◆水質(浮遊物質) ◇土壌(一)
- ・ 大気汚染防止法： ◆粉じん、ばい煙
- ・ 特定物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律： ◇特定物質でない。
- ・ 悪臭防止法： ◇悪臭物質に該当しない。
- ・ 下水道法： ◆水質基準(浮遊物質)
- ・ 水質汚濁防止法： 排水基準(浮遊物質) ◇地下浸透規制(一)
- ・ 土壌汚染対策法： ◇該当項目なし。
- ・ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律： ◇特別管理産業廃棄物に該当しない。
- ・ 海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律： ◇海洋汚染物質に該当しない。

16 その他

参考文献：

- 1) 日本化学会編, 化学便覧 基礎編 改訂 5 版 ; 丸善
- 2) David R. Lide, CRC Handbook of Chemistry and Physics 76th Ed., CRC Press
- 3) 化学大辞典 ; 共立出版
- 4) 山根 登 ; 微量元素 ; 産業図書
- 5) 後藤 稔ら, 産業中毒便覧 ; 医歯薬出版株式会社
- 6) N.Irving Sax et.al., Hazardous Chemicals Desk Reference
藤原 鎮男 監訳 ; ザックス 有害物質データブック ; 丸善
- 7) 吉田忠雄 田村昌三 監訳, 危険物ハンドブック ; 丸善

注意事項：・ 本情報は製品に対しての品質保証や安全保証をするものでなく、製品の危険、有害性等に関する情報を提供するものです。また、注意事項は通常取り扱いを対象としたものであって、特別な取り扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策をお願いいたします。